

安全データシート

Safety data sheet

シヤットウイルス:1/5

1、製品及び会社情報

製品名 : シヤットウイルス (アルコール系除菌剤)
会社名 : 有限会社 三 恵 技 研
住所 : 〒339-0076 埼玉県さいたま市岩槻区平林寺765番地
担当部門 : 技術部 川内芳彦
電話番号 : 048-758-3330
FAX番号 : 048-758-4011
作成日 : 2020/6/1

2、危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2
自然発火性液体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 分類できない
金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 経口 : 区分外
急性毒性 経皮 : 区分外
急性毒性 吸入(蒸気) : 区分外
急性毒性 吸入(ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外

呼吸器感受性 : 分類できない
皮膚感受性 : 分類できない
発癌性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分1(肝臓)
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性 : 区分外
水性環境急性有害性 : 区分外
水性環境慢性有害性 : 区分外

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害情報

: 引火性の高い液体
: 眼刺激
: 呼吸器への刺激の恐れ
: 臓器の障害
: 眠気又はめまいの恐れ

注意書き

【安全対策】

- ・粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。
- ・熱、火花、裸火、など高温のもののような着火源から遠ざけること。
- ・取扱いはよく手を洗うこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- ・他の容器に移し替えないこと。
- ・施錠して保管する事。
- ・耐腐食性/耐腐食性内張りがある容器に保管すること。
- ・内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。

【保管】

【廃棄】

3、組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物		
化学名又は一般名	: エタノール主剤の混合物		
成分及び含有量及びCAS番号	エタノール	< 70.7%	CAS番号 64-17-5
	食品添加物質 純水	< 1.0%	社外秘
化学式又は構造式	: 混合物につき適用外		
官報公示整理番号	: 既存化学物質リストに掲載済		

4、応急措置

吸入した場合	: 直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、医師の手当てを受ける。
目に入った場合	: 水で15分間以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼刺激が持続するときは、医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませ、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5、火災時の処置

消火剤	: 耐アルコール泡、散水、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	: 棒状放水
火災時の特有な危険有害性	: 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを放出することがある。
特有の消化方法	: 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 消火作業は、風上から行う。 指定された消火剤を使用すること。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 周辺を立ち入り禁止にして関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
消化を行う者の保護	: 燃焼により有毒ガスなどが発生するので、空気呼吸器を着用する。 延焼の恐れがないよう水スプレーで周辺を冷却する。 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6、漏出時の措置

人体に対する注意事項
・保護具及び緊急時措置

: 周辺を立ち入り禁止にして関係者以外の者を近づけないようにして二次災害を防止する。

作業の際には適切な保護具を着用する事。

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

屋外の場合は、風上から作業をし、風下の者を退避させること。

: 河川への排出などにより環境への影響を起さないように注意する。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法

・機材

: 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。

漏出物は密封できる容器に回収し安全な場所に移す。

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。

大量の流出は盛土で囲って流出を防止する。

スコップ、ウエス等で回収する。

水での洗浄なども河川への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

二次災害の防止策

: 直ちにロープ等を張り関係者以外の立ち入りを禁止する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7、取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 換気の良い場所で取り扱う。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

吸入、眼や皮膚への接触を防ぐため、適切な保護具を使用する。

長時間または反復の暴露を避ける。

: 取扱い後はよく手を洗いうがいをする。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

目、皮膚、衣服との接触を避ける。

安全取扱い注意事項

保管

適切な保管条件

: 日光の直射を避ける。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

通風の良い、乾燥した冷暗所に保管する事。

酸性物質と一緒に保管しない。

施錠して保管すること。

腐食性の内張りがされているもので、適切な容器で貯蔵すること。
: ガラス製、陶器製容器での貯蔵禁止。

安全な容器包装材料

: ポリエチレン製、鋼製(内装ポリエチレン)、SUS製容器。

8、暴露防止及び保護措置

管理濃度

許容濃度

: 設定されていない

: STEL 1,000ppm(1,880mg/m³)

ACGIH(2009年版)

設備対策

: 排気装置を付けて蒸気が滞留しないようにする。

本製品に作業者が直接触れたり、暴露しないような配慮をする事。

取扱い場所の近くに安全シヤワー、手洗い、洗眼設備を設けその

位置を明瞭に表示する。

取扱い場所での発生源の密閉化をする。

: 有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器を使用する

: 不浸透性であり、かつ丈夫な保護手袋を使用する。

: 一眼眼鏡又は保護面を着用する。

: 耐薬品性の保護衣と安全靴を使用する。

呼吸器の保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

9、物理的及び化学的性質

外觀

物理的状态

色 : 液体
 微黄色
 臭い : 特有の芳香
 比重 : 0.85
 引火点 : 22°C
 発火点 : 422°C
 曇点 : 51°C
 溶解性 : 非常によくとける
 水 : データーなし
 その他の溶媒

10、安定性及び反応性

安定性

: 通常の取扱条件においては安定である。

危険有害反応可能性

: 硝酸、硝酸銀、硝酸水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応する

11、有害性情報

急性毒性

(区分外)

経口 ヒト:LDLO 1,400mg/kg 行動、胃腸(吐気)
 経口 ラット:LD50 7,060mg/kg 呼吸器系
 経口 ラット:LC50 20,000mg/10h
 経口 ヒト:TDL0 700mg/kg 行動
 腹腔 哺乳類 :LD50 4,300mg/kg
 皮膚腐食性・刺激性 :区分外
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 :区分2B
 目 ラット :100mg/24h 症状(中度)

発癌性

: 分類できない

呼吸器感受性

: 分類できない

皮膚感受性

: 分類できない

生殖変異原性

: 特定標的臓器毒性(単回暴露)

特定標的臓器毒性(単回暴露)

: 区分3 (気道刺激性)

吸引性呼吸器有害性

: 分類できない

12、環境影響情報

生態毒性

マスの幼魚 :LC50 11.2g/L 24h
 コイの一種 :LC50 18~13.4g/L 96h
 ケビ :LC50 11.0g/L・7h

13、廃棄上の注意

残余廃棄物

- 内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

14、輸送上の注意

国際規制

IMDGコード

(国際海上危険物規則)

国連分類 : クラス3 (引火性液体)
 国連番号 : 1987 アルコール類
 容器等級 : II
 海洋汚染物質 : 非該当

緊急時応急措置指針番号 : 127

15、適用法令

消防法 : 第2条 別表第1 第4類 引火性液体 3 アルコール類 (400L)
 食品衛生法 : 食品添加物
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 労働安全衛生法 :
 施行令 別表 第1 危険物 第4号 引火性の物 3 (エタノール)
 施行令 別表 第9 名称等を表示し又は通知すべき危険物及び有害物 (エタノール)

16、その他の情報

引用参考文献

アルコールハンドブック(1997年)
 13700の化学商品
 国際化学物質安全性カード
 財団法人ハイオクダストリー協会
 化学工業日報社
 化学工業日報社

◎特別注意事項

本製品の安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上製品を試用してください。また、当社はSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。